京都府北部・橋守研修会の実施及びその成果

舞鶴工業高等専門学校 正会員 ○玉田 和也
 京都府中丹東土木事務所 岩崎 英徳

1. はじめに

国土交通省では全国の道路管理者に対して、早急に橋の点検を実施して、その実態を把握すると共に、「橋の長寿命化修繕計画」を策定し、橋の維持管理を事後保全から予防保全に切り替える方針を打ち出した。これに関して、都道府県では平成 23 年度末を、市町村では平成 25 年度末を期限として「長寿命化修繕計画」を策定し、「計画」に則った補修・補強を行えば、これに要する費用の 50~55%を補助するとの方針を示している。

そのため市町村では「橋の長寿命化修繕計画」の策定と運用体制の立ち上げが喫緊の課題であり、その支援策として京都府中丹広域振興局建設部と舞鶴工業高等専門学校は、市町の技術職員を対象とした橋の維持管理に関する研修会を設立した。ここでは、本研修会の 1 年 6 カ月間の実施状況とその成果を報告するとともに、市町村における課題を整理する。

2. 京都府北部地域の概要

京都府は南北に細長い地形をしており、その北部地域は綾部市、舞鶴市、福知山市からなる中丹地域と宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町からなる丹後地域から構成されている。北部の市町が管理する橋梁の合計は、橋長が 2m 以上の橋梁は 3710 橋、そのうち橋長 15m 以上が 580 橋である。橋長 15m 以上の橋梁のうち建造から 50 年以上経過した橋梁は 48 橋、橋長 2m 以上の橋梁のなかで交通規制している橋梁は 19 橋ある。

3. 橋守研修会の内容

研修会は橋に係わる損傷の原因、メカニズム、対処方法等に関する知識を習得する座学と、市町が管理する橋梁を実際に点検する実習を組合せたカリキュラムとしている。また、当日の実習の前には対象となる橋梁についてのレクチャーや点検・評価のポイントの説明を行った。実習の成果は次回の研修会で報告を行い、毎回参加者に対してアンケートを実施し研修内容についての反応や技術相談を受け付けた。研修内容の詳細については表 1 を参照されたい。

表 1 橋守研修会の内容

	実施年月日	場所	受講人数	形態	内容 (毎回アンケートを実施し次回にリプライを配布)
第01回	2009年11月5日	舞鶴高専	25	座学	研修会設立の主旨、長寿命化修繕計画、市町村での実施上の問題点、京都府・舞鶴高専の取組
第02回	2009年12月10日	舞鶴市	21	実習	相生橋(RC)と八幡橋(M)の点検、基礎データ収集要領(案)の解説、ゲルバー桁の断面力図
第03回	2010年1月14日	舞鶴高専	26	座学	「コンクリート構造物のひび割れとその対策：小野紘一(京大名誉教授)」、相生橋調査結果、八幡橋の対策案
第04回	2010年2月17日	福知山市	21	実習	長田野中橋(M)と野笹橋(RC)の点検、実習前・後の点検講習
第05回	2010年3月18日	福知山市	29	座学	「道路橋床版と橋の簡易維持管理手法について：松井繁之(阪大名誉教授)」、長田野中橋と野笹橋調査結果
第06回	2010年5月20日	舞鶴高専	31	座学	コンクリート系橋梁の補修・補強、朝日橋・しいのき橋施工事例紹介、技術相談8件
第07回	2010年6月15日	綾部市	23	実習	大迫橋の点検、実習後の点検講習、F11T高力ボルトの遅れ破壊、補修工法の概略工費、技術相談2件
第08回	2010年7月22日	福知山市	27	座学	「防食塗料と塗装：山崎明(日本ペイント株式会社)」、点検カメラの紹介、技術相談6件
第09回	2010年8月19日	綾部市	24	見学	新綾部大橋橋梁修繕工事見学、橋の老朽化対策研究会の紹介、技術相談1件(石造桁橋の評価について)
第10回	2010年9月17日	舞鶴市	23	見学	点検用ビデオカメラによる点検状況の見学、斜張橋のケーブル張力測定、技術相談7件(塗装関係)
第11回	2010年10月14日	綾部市	23	座学	「鋼橋の維持・補修：本間順、野澤栄二(橋建協)」
第12回	2010年11月16日	京丹後市	20	実習	新山橋(M)の点検、実習前の点検講習
第13回	2010年12月20日	福知山市	24	座学	「コンクリート橋の変状と補修補強：松川治雄、三田建大(PC建協)」、新山橋の点検結果、技術相談2件、技術紹介
第14回	2011年2月4日	舞鶴高専	26	座学	「コンクリート構造物の塩害とその対策：丸山久一(長岡技術科学大学大学院教授)」、次年度用アンケート

キーワード 長寿命化、維持管理、橋守、道路橋、人材育成、土木教育

連絡先 〒625-8511 舞鶴市宇白屋 234 舞鶴高専 建設システム工学科 tel:0773-62-8983 e-mail:tamada@maizuru-ct.ac.jp